鶴ヶ島市立南小学校 学校だより

学校HP









読書の秋を楽しみましょう!

校長 吉澤 充

この夏は、猛暑日や酷暑と呼ばれるような厳しい暑さが続きました。その影響なのか、最近では「今日の最高気温は 20℃です」という天気予報を聞いても、「爽やか」よりも「肌寒い」と感じてしまうようになりました。窓の外を見れば、季節はすっかり秋本番となっています。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋と、何をするにも心地よい季節です。今回は、その中でも「読書の秋」について、少しお話をさせていただきます。

OECD(経済協力開発機構)では、3年に1度、国際的な学力調査「PISA」を実施しています。 直近の2022年調査では、日本の「読解力」は37か国中2位という結果でした。前回の11位から 大きく順位を上げたことは、非常に喜ばしいことです。しかし、調査全体の平均点は年々下がってき ており、その最大の要因は「SNS の普及」と言われています。欧米では2010年頃から若年層の 読書離れが問題視され、2020年頃からはメンタル面への悪影響も指摘されるようになりました。 SNS は便利なツールですが、短い言葉でのやりとりが中心となるため、長い文章を読む機会が 減り、書く力も弱まっている傾向があります。

日本は今のところ良い成績を収めていますが、安心はできません。この3年間で日本国内でも SNS の普及は急速に進み、次回の調査結果に不安を感じています。

学校でも、友達同士のちょっとした言葉の行き違いから、誤解やトラブルが生じることが、毎日のように起きています。 最近では、SNS 上のトラブルに関する報告や相談も増えてきており、言葉や

説明が足りないことによる誤解や、不適切な言葉の使用による思い込みが原因となるケースが多く見られます。これは子どもだけの問題ではなく、大人の社会でも誹謗中傷などの問題として深刻化しています。

このような社会の中で、読書離れが進むことは、ますます人間関係のトラブルを 増やす要因になるのではないかと危惧しています。だからこそ、本校の児童には「やさしい言葉と 笑顔」を大切にし、一人一人が社会の中で"きらきら輝く人"になってほしいと願っています。

読解力は、文章を深く理解する力であり、相手の意図や気持ちを正しく読み取る力にもつながります。円滑なコミュニケーションの土台となるこの力は、学力向上だけでなく、豊かな人間関係を築くためにも欠かせません。

その読解力は、一朝一夕で身につくものではありません。日頃から活字に触れる習慣が大切に

なってきます。活字に触れる身近な方法は、「新聞」や「ネットの情報」などがありますが、情操教育の面からも「読書」をお薦めします。読書を通じて、文字に興味を持ち、内容を理解し、 想像する力を育てていくことが、理解力の向上につながると考えます。さらに、読書を 通じて、理解力を高め、文章を書く力を育て、そして良好な人間関係を築けるようになる ことを願っています。

11月は、読書月間として、学校でも読書に親しむように働きかけていきます。ご家庭でも、ぜひ「読書の秋」を楽しんでいただければ幸いです。「本は心の栄養」ともいわれます。いろいろな本に出会い、たくさんの物語に触れることで、お子様の想像力と考える力が養われ、優しい心が育つことでしょう。この秋は、心にたくさんの栄養をつけてほしいと思います。

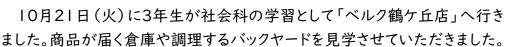
運動会の実施

10月17日(金)に再延期の末、開催しました。当日は、晴天の秋空の下、児童は、全力で競技や演技、応援等に取り組むことができました。高学年の児童は、運営面でも自分の役割を理解し、責任をもって堂々と行うことができました。

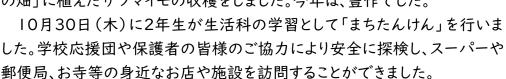


校外学習の実施

10月15日(水)に1年生が生活科の学習として「鶴ヶ島市運動公園」へ どんぐり拾いに行きました。袋にいっぱいのどんぐりを集めて持って帰ること ができました。



IO月24日(金)になかよし学級が生活単元の学習として、春に「けんぜんの畑」に植えたサツマイモの収穫をしました。今年は、豊作でした。





食に関する指導の実施

10月29日(水)に6年生が、給食センターから栄養教諭を招いて家庭科の授業を行いました。前日の給食の献立から栄養素のことや料理実習に向けての献立づくりを教わりました。



音楽朝会の実施

10月22日(水)に2年生が音楽朝会で「手のひらを太陽に(合唱)」と「アイアイ(合奏)」を発表しました。

10月29日(水)に4年生が音楽朝会で「10才のありがとう」と「U&I」を発表しました。また、31日(金)には、鶴ヶ島中学校の体育館で行われた市内合唱祭に、南小学校の代表として合唱を発表しました。綺麗な歌声を響かせてくれました



